

## 6 講義等の内容

(平成29年4月1日現在)

授業科目名		授業概要
基盤看護分野	看護学研究法	基本的な研究デザインとその基盤となる前提や科学的推論方法を学び、看護科学の特性を理解する。さらに、看護学研究における基本的な研究方法について理解する。
	看護理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護理論とは何か、看護理論の構成要素、看護理論の評価の枠組みを学び、看護実践及び看護学の確立の基盤となる看護理論の意義を理解する。</li> <li>・看護理論の発展過程と歴史的背景を理解し、看護理論の種類について理解する。</li> <li>・看護実践の基礎となる主な看護理論の概念および特徴を学ぶ。</li> <li>・看護実践における事例を通して、看護理論の実践への適用の有用性について検討する。</li> </ul>
	看護倫理特論	看護倫理の意思決定について学びを深め、倫理的感受性を精錬されたものにして行くとともに、倫理調整能力を高める。
	看護政策論	看護を取り巻く保健医療福祉の政策課題の分析と政策決定のプロセスを知るとともに、看護職の立場で政策課題の解決に関与することの意義を学ぶ。
	看護コンサルテーション論	コンサルテーションの基礎知識を学ぶとともに、看護職を含むケア提供者に対して実際的な問題を解決するのを助けるためのコンサルテーションに必要な知識や面接・相談技法を学ぶ。
	看護教育学	看護教育学に応用可能な教育学の基礎とともに、看護教育制度、看護教育評価、看護教育学研究の成果などを理解し、看護基礎教育、看護卒後教育、看護継続教育の現状と連関、今日的課題を考察する。
共通基盤分野	病態生理学	ケアとキューアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養過程の全般を管理・実践するための基盤となる知識・技術を習得する。エビデンスに基づき、専門看護師として看護の立場から炎症、変性、新生物など病態生理学的変化を解釈・判断するために必要な知識と技術を習得する。
	フィジカルアセスメント	この授業では、疾病の診断、管理に必要な身体所見の取り方を視聴覚教材やモデルを用いて解説する。本授業により、ケアとキューアの融合による高度な看護学の知識・技術の習得、ならびに、患者の治療、療養過程の管理ができるようになる。
	臨床薬理学	ケアとキューアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養過程の全般を管理・実践するための基盤となる知識・技術を習得する。緊急応急処置、薬物動態と薬力学、処方上の留意点と服薬指導、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、専門看護師として看護の視点で、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と技術を学習する。
	看護情報統計学	看護研究および看護実践に必要となる基本的な統計的分析の理論を理解するとともに、その方法を習得し、各自の課題研究での数量の取扱いに関する実践的分析能力を養う。
	人類学特論	人類が遭遇した過去の疾病の病態と、それにわれわれの祖先がどのように向き合ってきたのか、更には疾病が社会に及ぼした影響について学習する。

授業科目名		授業概要	
共通基盤分野	健康社会学	1. 実証主義社会学の考え方を、健康現象についての研究に援用するための基礎を身につける。 2. マクロ水準のできごととミクロ水準のできごとの相互連関とその道筋について見取り図を描けるようになる。	
	疫学	1. 国際保健を理解する。 2. 自分で問題点を探り、解決法を模索する。 3. 図書、インターネットにより情報を検索・収集し、自分のものとする。 4. グループ討議を理解する。	
	家族関係特論	看護学における「家族関係」の問題は、看護の業務に携わる者にとって、患者やその家族を支えるための重要な要因である。本講義では、家族関係を理解するために、主として、家族心理学や臨床心理学の概念や理論を取り上げ、患者を含む家族への援助の技術や技法を学ぶことを目的とする。また、看護業務で想定される、家族関係に関わる問題に対する援助技術として面接法を取り上げながら、問題解決能力を習得することを目標とする。	
	対人関係特論	対人援助職であり感情労働である看護において、自分自身の対人関係スタイルを理解するとともに、自己理解を他者理解と看護に活用できるようになる。また、人と人の中で生じていることを力動的かつ多面的に理解し、円滑な対人関係能力を高める。	
専門分野	看護管理学	看護管理学特論	看護管理に必要な知識体系について総合的に理解する。さらに、実践に即した看護管理の課題を論理的・科学的に探究するための諸理論や概念を理解し、看護管理に関連した研究課題へとつなげ、検証するための研究方法や分析などについても学ぶ。
		看護管理学援助論Ⅰ	看護管理学に関連した国内外の文献を講読し、看護管理学の専門的な知識を深めるとともに、自己の研究課題を探究し、研究計画を立案する。
		看護管理学援助論Ⅱ	看護管理学に関連した諸理論や方法論の学習を深め、看護管理学課題探究の基盤をつくるとともに、自己の研究課題を明確にする。
		看護管理学特別演習	看護管理学に関する自己の課題を明確にして、計画の洗練化を図り研究計画書を作成する。
	基礎看護学	基礎看護学特論	看護理論を基盤とし、自己の体験と関連づけながら、人間、健康、生活などの概念について理解を深め、看護の本質について考察する能力を養う。
		基礎看護学援助論Ⅰ	看護技術・技能の本質及び基礎的な技術の洗練過程について理解し、看護技術の科学的検証のあり方や展望について考察する。
		基礎看護学援助論Ⅱ	看護実践の基礎となる看護技術とその教育、看護基礎・継続教育に共通する講義・演習・実習の基礎について学習し、実践と教育の双方から質の高い看護の提供に必要な各自の課題とその克服について展望する。
		基礎看護学特別演習	看護実践について学生個々の関心に応じて学習を深める。自らの関心に沿ったテーマについて、関連文献の精読及び議論を重ねながら、基礎看護学または看護教育学に関する研究課題の洗練化を図る。
	母性看護学	母性看護学特論	母性看護に役立つ概念、理論と看護援助方法について主体的に探究する姿勢を培う。
		母性看護学援助論Ⅰ	母性看護に関連する理論や看護援助方法の学びから、周産期にある女性とその家族の健康問題の解決の基盤を学ぶ。
		母性看護学援助論Ⅱ	母性看護の対象である女性とその家族への支援について、母性看護に必要な支援方法を学習し、自己の母性看護実践能力を高める。
		母性看護学特別演習	母性看護に関する看護実践や文献検討から研究課題を見出し、課題に即した研究デザインを検討して研究計画書作成を目指す。

授業科目名		授業概要	
専門分野	小児看護学	小児看護学特論	健康障害を持つ子どもと家族を理解するための基本概念・理論について理解を深める。
	小児看護学	小児看護学援助論Ⅰ	国内外の文献の講読およびクリティークを通して、小児看護における研究の動向や研究方法について学び、様々な健康レベルにある子どもと家族への看護実践への適用を理解する。
	小児看護学	小児看護学援助論Ⅱ	子どもと家族を取り巻く社会環境の変化による諸問題や看護実践場面における倫理的問題について理解を深め、様々な状況における小児看護の看護実践方法について理解する。
	小児看護学	小児看護学特別演習	文献講読や討論およびフィールドワークを通して、小児看護の現状と取り組むべき課題について理解を深め、小児看護の実践や教育の向上に寄与する研究課題を見出す。
	成人看護学	成人看護学特論	慢性疾患を持つ人々とその家族の援助の基本となる概念および理論について、要点を説明できる。
	成人看護学	成人看護学援助論Ⅰ	慢性疾患を持つ人々とその家族への看護アプローチ方法とその評価方法の基本を説明できる。慢性病を抱える患者と家族が直面する倫理的課題への対応を考察できる。
	成人看護学	成人看護学援助論Ⅱ	慢性疾患看護における各自の関心領域の国内外文献の講読・クリティークを通して、自己の研究課題の絞り込みができる。
	成人看護学	成人看護学特別演習	慢性疾患看護領域の個々の研究課題について、研究計画書を作成できる。
	がん看護学	がん看護学特論Ⅰ	がん医療やがん看護・緩和ケアの動向を理解するとともに、がん患者のたどる経過(診断、インフォームドコンセント、集学的治療、社会復帰と在宅療養、End of Life Care)に沿って必要となる身体管理・看護ケアの概要について理解する。
	がん看護学	がん看護学特論Ⅱ	がんにより苦痛を体験している人々および家族の特徴について理解を深め、質の高い看護を実践するための基盤となる概念と理論を理解する。
	がん看護学	がん看護学特論Ⅲ	複雑な問題を持つがん患者に対する高度な看護実践のために、がん看護専門看護師としての視点で、対象理解、アセスメント、看護実践に必要ながん病態生理学の基礎知識を理解する。
	がん看護学	がん看護学特別演習Ⅰ	がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を包括的に理解し、エビデンスに基づいて適切なキュアとケアを統合して提供する能力を修得する。
がん看護学	がん看護学特別演習Ⅱ	がん薬物療法の有害事象の予防・早期発見・早期対処を行い、治療の継続および治療中の生活の質を高めるために必要なアセスメントとエビデンスに基づく看護援助方法や教育技法を修得する。	
がん看護学	がん看護学特別演習Ⅲ	がん看護に関する課題を把握し、文献クリティークを行う。がん看護相談、グループ看護相談、地域のがん看護相談など実践を通じて深めた研究課題について文献を購読し各自の研究の意義と目的を明確にする。さらにがん専門看護における能力の開発を行う。	
がん看護学	がん治療看護介入演習Ⅰ	がん患者・家族支援に必要な内容を総合的に判断し、ケアとキュアを融合し支援するための技術(治療を受ける患者の心と体を整える支援、各症状のマネジメント、せん妄や抑うつ等の臨床判断を含む緩和ケアなど)について学内や病院演習を通し、実践できる能力を修得する。	

授業科目名		授業概要
専門分野	がん治療看護介入演習Ⅱ	既習の基礎知識・技術(フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態生理学、がん病態生理学と支援技術)を活用し、がん患者を受け持ち、ヘルスアセスメント、臨床判断と治療看護介入など必要な内容を総合的に判断し、ケアとキュアを融合し支援する能力を修得する。
	がん高度実践看護実習Ⅰ	がん看護専門看護師としてのアセスメント能力・関連職種間の連携・ケアマネジメント・コンサルテーション・教育的機能を果たす能力・援助方法の開発推進等の役割、がん医療における地域連携の実際について、モデルを通して学ぶ。 看護専門職として包括的なアセスメント能力・援助方法について、倫理的判断、諸理論を活用して実習し、専門的能力を養う。 また、包括的なアセスメントに基づき、複雑で対応の難しいがん患者や家族の様々な問題を焦点化し苦痛の緩和、日常生活の回復や適応を促進するために、理論を活用し看護を展開する能力を養う。
	がん高度実践看護実習Ⅱ	がん看護の特殊性を踏まえて、看護専門職としての包括的なアセスメント能力・関連職種間の連携・ケアマネジメント・コンサルテーション・教育的機能を果たす能力・援助方法の開発推進等の役割について、論理的判断・諸理論を活用して実習し、専門的・総合的能力を養う。 実習Ⅰを発展させ、スーパービジョンを受けながら、臨床においてがん看護専門看護師として6つの役割における相談・調整・看護職への教育、およびがん医療における地域連携活動に参加し、問題解決に向けた総合的な実践能力を養う。
	がん高度実践看護実習Ⅲ	がん看護の特殊性を踏まえて、看護専門職としての包括的なアセスメント能力・関連職種間の連携・ケアマネジメント・コンサルテーション・教育的機能を果たす能力・援助方法の開発推進等の役割について、論理的判断・諸理論を活用して実習し、専門的・総合的能力を養う。 実習Ⅰ・Ⅱを発展させ、スーパーバイズを受けながら、がん看護専門看護師としての6つの役割における実践・倫理調整・相談・教育・研究指導を実践し、問題解決に向けた総合的な実践能力を養う。
	がん高度実践看護実習Ⅳ	がんの進展や治療に伴う苦痛を抱えている患者に対して、キュアとケアを融合して支援する能力を養う。 がんの治療、経過、状況・場面における苦痛緩和のための症状コントロールと治療を遂行するために必要な医師と協働する医療処置について卓越した判断能力やケア能力を養う。
	がん高度実践看護実習Ⅴ	がんの進展や治療に伴う苦痛を抱えている患者に対して、キュアとケアを融合して支援する能力を養う。 化学療法と放射線療法に対する有害事象等に関わる高度な症状コントロールと、治療を遂行するために必要な医師と協働する医療処置について、卓越した判断能力やケア能力を養う。
老年看護学	老年看護学特論Ⅰ	高齢者の健康生活を評価する理論的枠組みを理解し、評価方法の実際を修得する。 また、高齢者に対するフィジカルアセスメントの技法を修得する。
	老年看護学特論Ⅱ	複雑な健康問題をもつ高齢者とその家族について、看護の専門的知識、理論に基づいてアセスメントし、問題解決に向けて看護援助できる能力を養う。
	老年看護学特論Ⅲ	高齢者の健康生活を支えるサポートシステムの把握とその組織化、活用に関する理論と方法を探究する。在宅療養支援における看護のあり方や課題について老年看護の立場から探究する。

授業科目名		授業概要	
専門分野	老年看護学	老年看護学特論Ⅳ	高齢者に関する保健医療福祉制度・政策の動向(日本, 海外)について検討し、高齢者医療・介護に関わるマンパワーの現状と育成の動向を知る。治療や療養の場における看護・介護サービス提供上の課題を把握し、組織的・政策的アプローチを含む解決の方略を探究する。
		老年看護学特別演習Ⅰ	病院・介護施設に入院・入所高齢者・家族の複雑な健康・生活上の問題解決に対応する老人看護CNSとしての実践能力を養う。この分野で老人看護CNSに求められる相談、調整、倫理的調整、スタッフ教育の役割について検討する。
		老年看護学特別演習Ⅱ	認知症の疫学、診断と治療・療法に関する最新の知見を理解する。認知症に関連する多様なアセスメント方法を習得し、認知症の進行抑止、行動障害の予防・緩和、ならびに発症から死に至るまでの心身の回復や安寧に貢献する看護実践、生活環境の調整、介護家族やスタッフに対する相談、尊厳を守り倫理的な意思決定に対応できる能力を養う。
		老年看護学特別演習Ⅲ	老年看護に関する看護実践や文献検討から研究課題を見出し、研究の意義と目的を明確にする。さらに、課題に即した研究デザインを検討して研究計画書を作成することを目標とする。
		老年高度実践看護実習Ⅰ	病院に入院している高齢者の複雑で対応の難しい問題や生活上の課題について問題解決や状態改善をはかるために、老年看護に関連する諸理論を適用し、個別性を重視した包括的なアセスメントに基づく看護を展開する能力を養う。また、実習指導者(師長、看護部長)とともに、組織的な看護活動、スタッフ教育、相談、調整、研究指導を通して専門看護師としての能力を養う。
		老年高度実践看護実習Ⅱ	認知症高齢者の複雑で対応の難しい問題や生活上の課題に対して、問題解決や状態改善をはかるために、認知症ケアに関する諸理論を適用し、個別性を重視した包括的なアセスメントに基づく看護を展開する能力を養う。また、臨床指導者(師長、施設管理者)とともに、組織的なケア活動、スタッフ教育、相談、調整、研究指導を通して専門看護師としての能力を養う。
		老年高度実践看護実習Ⅲ	在宅療養高齢者の複雑で対応の難しい問題や生活上の課題について、問題解決や状態改善をはかるために、在宅看護に関連する諸理論を適用し、個別性を重視した包括的なアセスメントに基づく看護を展開する能力を養う。また、在宅で生活する高齢者の権利擁護に努め、安全・安心できる生活環境やケア体制、介護サポートづくりを行い専門看護師としての能力を養う。
精神看護学	精神看護学特論	看護理論や援助方法論を、精神看護の実践の場で適用する能力を高める。	
	精神看護学援助論Ⅰ	精神看護学に関連する諸理論を学習し、精神看護の探究に必要な基盤を作る。	
	精神看護学援助論Ⅱ	メンタルヘルスの問題を抱える人への援助方法について、精神看護の援助方法に関する諸理論を通して学習し、自己の看護実践能力を評価し、課題を明確化する。	
	精神看護学特別演習	精神看護の知識・技術・倫理を踏まえ、問題となる課題、関心のある看護テーマに焦点を当て、研究プロセスに沿って論文を作成する。	

授業科目名		授業概要
専門分野	地域看護学特論	地域看護のコアとなる実践技術を、概念の明確化からアセスメント・施策化の一連のプロセスにおいて学習し、アドバンスド・レベルの能力を考察する。
	地域看護学援助論 I	ヘルスケアシステムの成り立ちと現状を整理し、看護サービスの展開方法と技術開発を理解する。地域看護における倫理的課題への対応の方法を理解する。
	地域看護学援助論 II	ヘルスプロモーションやコミュニティ・デベロップメントにおける看護の役割を理解する。コミュニティを単位とした看護過程の方法と看護の役割を理解し、地域看護学研究の基盤とする。
	地域看護学特別演習	地域看護に関する自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成できる。
	看護学領域別特別研究	<p>本科目は、基礎看護学、看護管理学、成人看護学、がん看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、地域看護学の9領域から構成する。CNSではなく、いわゆる‘研究コース’に該当する。</p> <p>1年次および2年次の講義・演習の成果を前提にして研究指導教員が担当して開講する。この場合、学生が探究するテーマによっては、学生個々の指導体制に応じ、サポートする教員となる副指導教員、研究指導補助教員の支援も受けることがある。</p> <p>大学院生による文献検討や研究素材、研究の経過、成果報告をめぐって、教員、学生による討論などをふくめ修士論文作成に至る一連のプロセスに関して指導する。</p>
	専門分野別課題研究 (がんCNS)	がん性苦悩の緩和をはじめ、がんによって起こるあらゆる苦痛を全体的に捉え、緩和するための、薬物ががん患者のQOLの向上に資するために、方法論と援助展開論、特別演習 I、II で修得した理論を基盤にして、がん看護・緩和ケアにおける専門的な知識や技術を深めるための研究課題を、研究的アプローチに基づいて、論文あるいは成果物として作成する。
	専門分野別課題研究 (老年CNS)	老年看護CNSコースの課題研究に取り組み、論文を作成する。